

# 札幌啓成高校科学部紹介

札幌啓成高校は自然豊かな野幌森林公園の近くにある道内にある理数科設置校の1つであり、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校で、KSIという独自の授業があります。

KSIの主な内容は、森林研修や理科・数学での課題研究、特別科学授業などがあります。

他にも、道内・道外、海外の視察研修などもあります。道内・道外研修は自然と技術の2つの分野の研修コースがあります。海外研修はカナダとマレーシアで行われます。

次に科学部を紹介します。

私たち科学部は、現在、部員が28名の中で物理班、化学班、生物班、地学・天文班、缶サット班に分かれ、高文連や他の大会に向けてそれぞれ活動を行っています。

物理班は、ケルビン発電機を作っています。

化学班は、現在炎色反応の実験を行っており、また大気調査も今後実施する予定です。

生物班は、野幌森林公園に生息しているサンショウウオとアライグマの調査・研究などを行っています。

地学・天文班は、スプライト、星座の観察などを現在行っています。

缶サット班は、7月6日に開催される缶サット甲子園大会に向けて主にキャリアの製作、減速機構の製作・落下実験、プログラミングを行い、昨年の反省を活かし、日々努力しています。

最後に、今年度の缶サットの製作内容を紹介します。

キャリアは昨年度のキャリアをベースにした構造で製作しています。缶サット内部のプログラミングは、昨年よりセンサーを増やし、より多くの情報を獲得できるよう改良しました。また、基板も昨年より安定したものに変更しています。

今年の全国大会は北海道で行われるので、チーム全員で協力し、進めるように頑張ります。



↑減速機構の落下実験の様子



↑減速機構の製作の様子